

給食費の値上げは避け 質確保への工夫を望む

公明党 高橋りょう子

I 最近、大人に目立つ百日咳は、親から子への感染が心配。市の現状と大人への対策は。
答：医師会からの情報収集を進めたい。制度上、大人への予防接種は対象外であり、難しい。
II 北部地域の防災へのバックアップ体制は。
答：防災推進委員や防災学校の卒業生、町内会などが行なう拠点づくりを推進・援助する。
III 学校給食について ①昨年6月、小学校給食の「犬食い」解消のために食器補充を提案したが。
答：収納設備など問題があり、検討の段階。
②新学期の中学校給食での喫食率や反応は。
答：平均より高い87%で実施中。好評である。
③物価高騰による給食費の値上げは。また食物アレルギーのある子ども数は。
答：値上げは質を確保しながら避ける努力をしたい。アレルギーを持つ子ども数は未掌握。
IV 食育への取り組みについて
①6月は国が定めた食育月間だが市の対応は。
答：今年から推進計画策定を開始する。また文科省の委託を受け8小をモデル校に「地場産業を給食に生かす」事業にも取り組む。
②食育の学習をより向上させるために食育リーダーの研鑽会や交流の場を設けては。
答：食育リーダーの研修会を実施。また栄養士の定期的な連絡会などをより充実させたい。

西武国分寺線踏切の 歩行者安全策を実施せよ

無会派（民主党） 興津秀憲

興津) ぶんバスについて。既存3路線を連結決算にすれば、市財政の持ち出しではなく収入増になる。民間会社と交渉すべし。
部長) 庁内の検討委員会、地域公共交通会議の中で検討し、交渉していきたい。
興津) 国立駅北口にバス停も出来た。最近雨天時など朝の渋滞がひどいが、解決策を。
部長) 交通管理者と協議をしまいたい。
興津) 市民の安全確保の為に、日立中研裏の国分寺線に歩行者踏切を設置できないか。
市長) 危険な個所であると認識している。
部長) ご意見として受け止めさせて頂く。
副市長) 現計画下では難しい。別の選択肢を考えていく。
興津) 学力格差をなくしていく方策は。
教育長) 学力格差が生じないように、個に応じた指導を展開するように努めたい。
その他) 公立の中高一貫校もできた。個に応じた進路を含めた指導を求めた。いずみホールの使用について、利用希望日が重複した場合には、目的に添う市内施設を紹介できないか。学校施設利用には、市民モラルの向上も求めつつ、公民館等と連動して学校文化施設の利用を視野に入れられないか。乳児・子供の医療証について等を質問した。

地域福祉計画策定 事業仕分けで行政改革を

国分寺・生活者ネットワーク 梁川律子

国は2000年に社会福祉法を改正し「市民の身近な日々の暮らしの場である市に地域全体で取り組む」方向性を示しました。しかし市は児童、障害者、高齢者など各分野別の計画はありますが「地域福祉計画」の策定をしていません。地域には子どもから高齢者まで住み暮らし、さまざまな環境のもとで生活しています。身近な地域に多世代が集える「居場所」が必要であり、市は責任を持って従前の福祉からの転換を行い、新たな地域福祉を進めていくべきと考えます。
問) 従前の縦割り分野別計画だけではなく地域の担い手を意識した計画を作るべき。
答) 担い手となる地域環境の醸成も必要。市民協働のあり方や現状分析等を行い、市民参加で実効性のある計画づくりを前進させる。
行政改革はどこの自治体でも行っていますが、その方法は様々です。市の現状も「今、行なっている事業」の外部者と課内評価をし、毎年度ごと少し事業見直しをしている評価制度です。
問) 現在の評価制度では不十分である。「事業の要、不要」を検討するために「事業仕分け」を市民参加、公開の場で進めよ。
答) 法整備もされている現状で前向きにとらえたい。方法を研究したい。
前向きな答弁に期待したいと思います。

国分寺駅北口再開発 事業費の縮小を

日本共産党国分寺市議団 川合洋行

1、住民税の払いすぎ「還付申告」の案内をもれなく
問) 税源移譲により住民税が払いすぎになった人数と税額は。
答) 3,606人、1億5,417万円になる。
問) 該当者への「申告」周知を漏れなく行え。
答) 申告期間は7月1～31日の間なので市報で4回とともに該当者への通知を行う。
2、分散庁舎の早期解消を
問) 「スタンプラリー」をやっているようだと言われている分散庁舎だ。解消方針は。
答) 9月を目途に方針を示す。
3、国分寺駅北口再開発事業費の削減を
問) 事業費の精査はどこまで進んでいるか。
答) 事業認可申請を目指す今年度の取り組みは資金計画なども含めた事業費の精査にある。今後取り組んでいくなかで明確にしたい。
問) 再開発ビル用の調査、設計など経費を市が立替えてきたが、その返還を放棄する振り替えが行われた。今年5億円、来年以降も21億円立替える計画だ。確実に市に戻る証はあるか。
答) 事業完了時の精算金に含まれる。
問) 結果を見ないとなんともいえない的でなく、明確な担保を施行条例か契約で定めよ。
答) 合理性があるかどうか検討する。

市役所から就労支援を！ 体験農園拡充

国分寺・生活者ネットワーク 多良京子

＝障がい者の庁内実習について＝
問) 多様な職種があり、多くの人と関わる市役所内は訓練の場に最適。早急に実習の実現を。
福祉保健部長) 就労支援センターとも協議し、訓練の場所を福祉保健部内に設置する。
＝就労困難者とワークシェアリング＝
問) 働く意欲がありながら就労を妨げる様々な要因を抱える障がい者、女性、若者、中高年等への「就労支援の方針」を早急に具現化せよ。
副市長) 7月に推進委員会を立ち上げ各部にまたがる事務を束ね、強力で効果的に推進を図る。
問) 市役所内の郵便物の集配、封入、押印などの軽作業をワークシェアリング事業として整理し、就労困難者が社会へ出るきっかけの一助としてはいかがか。庁内業務効率化にもつながる。
政策部長) 市の仕事を就労困難者に開放するような仕組みは必要。庁内調整を図りながら、できることを具現化していく。
＝体験農園拡充で都市農業保全を＝
問) 市民が農に触れ合えコミュニティの場でもある体験農園は、農家にとっても新たな経営スタイル。市では現在3園のみ。拡充を進めよ。
市民生活部長) 4園目開設に向けて予算時期までに目処をつけられるよう課題を整理し、意欲のある農家に働きかけていく。

後期高齢者医療制度の 実態などについて

日本共産党国分寺市議団 やなぎ孝義

《後期高齢者医療制度について》
※質問の冒頭、高齢者が置かれている実態について市長の認識を質したうえで、市民を守るために声を上げていくことが、市長としてとるべき態度だと指摘しました。
問) 市町村が独自に、保険料負担の軽減をすることについて、政府の見解は。
福祉保健部長) 市町村独自に軽減措置をとることは可能だという国会答弁がされている。
問) 市独自の対策をやるべきではないか。
市長) 市長会を通して改善要望するとともに、市民の不安を解消できるよう努める。
※不安解消のためには、制度廃止しかないことを再度指摘し、市長の行動を求めました。
《地域公共交通施策について》
問) 地域交通のよりきめ細かな充実をどのように進めるか。
建設部長) ワンボックスカーの乗合交通など、他市も参考にし、福祉保健部とも連携をとりながら協議していきたい。
《原油高騰・物価上昇の影響と対策》
問) 物価上昇が市民生活と産業に及ぼしている影響の把握と対策が必要ではないか。
市民部長) 早急に実態調査をし、それに基づいた支援策を進めたい。

次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成20年第3回定例会は、8月27日(水)から開会の予定です。

※本会議は市役所第一庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当 (内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成20年第3回定例会からの審査を希望する方は8月7日(木)までに

市役所第一庁舎3階議会事務局へ提出してください。

※提出にあたっては、事前にご連絡ください。

調査担当 (内581)